

和田 真

【中小企業診断士を目指した理由】

上司とうまが合わず転職をするためにどうしようか？と考え、何かしらの資格の取得を考えました。書店に寄った際に、中小企業診断士というネーミングに惹かれ、勉強してみようことを決意しました。また、叔父が経営する個人事業の跡取りがおらず、勉強の途中で、将来的には事業を承継することを決意したため、結果として十分役に立てることができる資格となりました。

【受験歴】

H28 1次試験不合格
H29 1次試験合格
2次試験不合格 (ABAB : 237 点)
H30 1次試験は受験せず
2次試験合格

【勉強歴】

H27年9月 勉強開始 (独学)
H28年9月 1次試験対策で某大手予備校通信講座 (情報システム・法務) 受講
*結果としてほとんど使いませんでした。
H29年1月 MMC 通学講座受講
H29年5月~8月 1次試験対策に専念
H29年10月~2月 簿記2級の勉強開始
H30年2月 簿記2級受験 (合格)
H30年3月~ 簿記1級の勉強開始 (25点くらいで不合格・・・)
H30年5月~ MMC 通学講座

【日々の学習時間】

平日 : 1 ~ 3 時間
休日 : 5 ~ 10 時間
週 : 25 時間

がベースの勉強量でした。勉強時間の管理にアプリを使用するのはおすすめです。(同じ志の人達とつながれるため)

【MMC を選んだ理由】

一緒に勉強している友達に MMC を勧められて通学を決意しました。当時は高崎に住んで

いましたが、お茶の水まで毎週日曜日に通学しました。遠くても通学がおすすめです。

【MMCの感想】

- ・先生が伝える内容に一貫性がある（先生どうして意見が違うことがない）
- ・キーワード、型、切り口など、練習すれば自分も使いこなせるツールをたくさん持っているため、勉強中に無駄に悩むことが少ない
- ・財務がわかりやすく、自分の得意科目にできる。

講座後に行う応用問題集やGW講座でもらえる財務の問題は特におすすめです。

【勉強のやり方】

1次試験

- ・ダメだった時

テキストや問題集ばかりに取り組んでいました。

- ・合格したとき

過去問を分野別に3周以上解きました。

2次試験

13年～29年までの、設問とMMCの解答を分野別にまとめ一覧ノートを作成しました。

*分野別とは

成長戦略・競争戦略・機能戦略など、どの階層を問われているか？によって

「H～年第○問：設問の一部抜粋：MMCの答えの一部抜粋」

を羅列していきました。

【事例IV】

講義後に配布される応用問題集とGW財務問題集おすすめです。最初は意味が分かりませんが、3回くらい解きなおしてくると解法が見えてきます。(PL・BS・CFの関連性が見えてくると非常に面白くなります。)

【簿記1級の受験の是非】

結論：あるにこしたことはないが、なくても診断士は十分合格できます。

私は、1回目の2次試験の不合格後に、簿記の勉強を始めました。(翌年の2次試験までモチベーションが続かないと思ったため。)

感想としては、勉強することで見えてくる要素も当然ありましたが、ほとんどは中小企業診断士とは関係のない内容なので、時間があればやってもいいのでは？程度です。どちらかという、1次試験の内容が簿記1級からの内容が多くなっていると感じるので、1次対策としてはいいかもしれません。(H30年の財務だけを解いたところ80点とることができましたので、勉強の効果はあったと思います。)

【最後に】

2次試験は「いろいろな予備校・教材の模範解答を見比べて」合格した人もいれば、「1つの教材のみ」で合格した人もいます。なので、自分が「このやり方でやり続ける」と決めてそれに注力すればいいと思います。(方向性を間違えると大変なことになりますが・・・)

私はMMC以外見ないと決めていて、ほんとうにそれのみをやりました。(簿記の勉強はやりましたが・・・)

それで合格することができたので、私はMMCのみに注力することをおすすめします。